



# 6月学年団だより

香川県立高松北中学校 3年団  
2026. 6. 1

梅雨入りが間近に感じられるようになりましたが、天気の良い日にはさわやかな風や鳥のさえずりが教室に流れてきます。のどかに季節が流れていく一方で、中学3年生の生活は少しずつあわただしくなってきます。学習面では、今年度中に7回ある「学習の診断」の1回目が4日（木）に始まります。

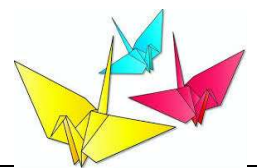
ここで、「**1.01の法則、0.99の法則**」の話をしたと思います。これは、「努力する姿勢」についての逸話です。有名な話ですから、ご存じの方もいらっしゃるでしょう。

1を何回かけても、答えは1になります。よって、1の365乗は1です。ところが、1が1.01になると、1.01の365乗は37.8です。逆に、1が0.99になると、0.99の365乗は0.03となります。これが何を意味しているかという、例えば、1が「通常の自分」だとすると、+0.01は「努力した自分」。つまり、早起きして英単語3つ覚えるなど、ちょっとでもプラスアルファがあれば、それを毎日（1年間=365日）継続することで、1年後には37.8倍に成長した自分になることとなります。逆に、-0.01は「怠けた自分」。つまり、部活動や校外での活動に疲れて家で勉強しないとか、スマホやゲームに時間をとられてしまっているとか、ちょっとでもマイナスなことがあって毎日を過ごすと、1年後にはなんと現在の0.03倍になってしまうのです。0.03倍とは、やっていないに等しくなります。37.8は、0.03の約1260倍にもなります。**日々のちょっとした頑張りが、1年後には大きな結果をもたらします。1年後、37.8倍の自分になるのか、0.03倍の自分になるのかは、毎日のちょっとした継続で決まります。**今後、子どもたちが自分の生活を振り返って、自己認識できるように支援していきたいと考えています。

## 1. 校外学習（広島）

とても多くの人たちが平和記念公園や資料館を訪れていました。小中高の学校団体も多くいましたが、外国からの人々の姿が目立ちました。平和を求める人々が国内外にたくさんいることを実感しました。資料館に入るとすぐに、当時原爆が落とされ建物が一瞬で崩れていく様子を、プロジェクションマッピングで表現している展示物がありました。見学を進めていくと、『「助けて」「水をください」動く気力もない母親の胸にすがる幼児』や『「目を開けて、目を開けて」子どもの名前を呼び続ける半狂乱の母親』などの、当時の人々の助けを求める叫びや悲しみが表現されている絵や、原爆によってぼろぼろになってしまった服や溶けてさび付いた三輪車、等が展示されていました。多くの尊い命をいとも簡単に奪った原子爆弾。何ともいえない悲しい感情になりました。

みんな同じように温かい血が流れている人間です。国が違っても、話す言葉や文化が違っても、心はつながり合えるはず。相手の心に共感しようとするコミュニケーションが大切だと痛感します。そして、一人一人が平和を望むことで、戦争を起こそうとする力を食い止める事ができると信じています。「原爆の子の像」にみんなで折った千羽鶴をお供えしてきました。他にも、たくさんの千羽鶴が飾られていました。もう二度と同じことが起こらないように、戦争がこの世の中からなくなることをみんなで祈りながら、千羽鶴をお供えしました。以下は、校外学習の翌日に書いた生徒たちの感想です。



・何かするとき「自分がこれをしたら誰かが傷つくのでは？」や、逆に「自分がこれをしたら誰かが救われるのでは？」ということを考え、みんながよい方へ向かえるように行動していきたいと思います。

・世界の、日本の、あるいは自分の身の回りの平和のために、人に優しく接し、譲り合いの精神をもって生活していきたいと思いました。行きのバスの中で視聴した『この世界の片隅に』や現地でも、人としてすべきことをたくさん学びました。自分の都合や利益を優先して物事を捉え、周囲への配慮を欠いてはいけません。常に周囲に配慮ができる人になります。

・戦争は人を無差別に攻撃し、傷つけるだけでなく、その後も戦争で負った傷や後遺症で人を苦しめ続けるということを学びました。戦争になると物価が上がったり、学校に行けなくなったり、常におびえながら暮らすようになり「普通の生活」ができなくなります。武力を行使するのではなく、話し合いで解決しなくてはならない。誰にでも平等に接すること、他人を思いやり気遣った言動をとることが、平和のために今の自分にできることだと考えました。

・たくさんの方がいれば、その人の数だけの考え方がある。その考えの違いから争いが起きてしまうことを考えると、自分がその違いを理解し、相手にも自分の考えを聞いてもらうことでお互いに分かり合い、平和な世の中につながっていくのではないだろうか。自分と考えが違うからと離れていくのではなく、上手に接点を見出していこうと思いました。

・資料館内では、多くの外国の方々が見学をしていました。すごく驚いた表情で展示物を見ている人や、展示物の前で涙を流している人もいました。日本で起こったことに関心を持ってくれ、深く心にささるものがあったのかと私も涙が出そうになりました。核問題は被爆国である私たちだけでなく、全世界共通の課題なので、日本から広島について発信していくことは大切だと考えます。そのためにもまずは、私たちが正しい知識を身に付ける必要があります。だから、今度は家族と一緒に広島平和記念公園や資料館を訪れたいと思います。

・「違いを認め、相手を受け入れること」「思いやりの心を持ち、相手を理解すること」が、平和について考えたときにこれから自分ができることだと思った。当たり前でできていることが幸せだと改めて知ることができた。戦争の中で暮らしている人たちは、夢を持つことさえ許されなかった。だからこそ、原爆の恐ろしさから目を背けずに、私たちがきちんと理解して後世につないでいくことが大切だと思う。過去に起こったことは変えられないが、未来は私たちが創っていくもの。私たちは平和の尊さを、身近なところから見出していきたい。みんなの共通理解や思いがないと、平和は実現しない。私は何事にも感謝をして、寛容な心をもって、日常生活を送るようにしたい。

・原爆ドームや爆心地、原爆の子の像、原爆死没者慰霊碑、広島平和記念資料館の数々の展示等、今まで教科書や資料集の中でしか見たことがなかったものを、実際に自分の目で見て、より身近に感じました。実際に書かれた手紙、着ていた服、当時の写真等を見ると、平和な世の中を求めながら、亡くなっていった人たちの思いを感じました。「私たちは、確かに平和な世の中を築いていきます。」と心の中で約束しました。

・今回学んだことをふまえ、より多くの人に原爆の恐ろしさやそれがもたらす被害について、知ってもらう必要があると思いました。たった一つの原爆だけど、何十年にもわたって苦しみ続けなくてはいけない人々、生きたままで焼かれていった人々、家族や友人を奪われた人々等、多くの人が不幸になってしまったことを、しっかりと後世にも伝え、二度と繰り返さないようにしなければいけません。核兵器を製造したり、使用したりすることは絶対にやめるべきです。誰かが持っていたら、またヒロシマのような悲惨な出来事がどこかで起こる可能性があります。戦争している国があっても、原爆を落としてやろうと思わせないためにも、日本から原爆の悲惨さや苦しさをしっかりと伝え、世界の一人でも多くの人々に平和を望んでもらわなければならぬと思いました。



9人のガイドさんと  
公園内を散策



原爆投下前後が瞬時に  
分かるプロジェクションマッピング



「原爆の子の像」のところで  
平和集会



千羽鶴奉納  
短冊の字(高藤愛侏さん)



## 2. 学習の診断・進路説明会

6月4日(木)の一日で5教科実施します。3年生はこのテストが7回あります。次回は9月2日(水)の予定です。回を追うごとにテスト範囲が広がり、3年間で学んだ内容をどれくらい身につけているか把握していきます。対策の一つは、厚物教材の進捗計画に沿って継続的に復習をすることです。各教科で曜日を決めて提出してもらい、厚物教材をチェックしてはいますが、やりっぱなしになっている感が拭えません。時間を上手に使い、じっくり学習に取り組んでもらいたいと思っています。自分の理解が不十分なところは、教科書等を見直したり、ノートに整理したり、また間違えた問題を何度も解き直しをしたりする等、丁寧な学習を積み重ねていくことで、着実に学力はついていくはずですよ。そして、すでにご案内させていただいている通り6月29日(月)、今後の進路指導計画や、高校の教員等が北高の特色やコース等を説明する会を開きます。万障お繰り合わせの上、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

## 3. 1学期期末テスト

先月中旬テストが終わったところではありますが、2度目の定期テストがやってきます。テスト発表が6月10日(水)で、6月17日(水)から3日間で実施します。「学習の診断」が終わっても、息をつく暇もありませんが、精一杯持てる力を発揮してほしいと思います。

6月17日(水)			6月18日(木)			6月19日(金)		
①英語	②数学	③技家	①理科	②音楽	③美術	①国語	②社会	③保体

